ウェブ版はこちら。データとレーティングはウェブ版の最新版を正とする
alphascope.cc/ja/reports/jp-weekly-2026-w44

日本株週報 · 2026年第44週（10/26〜10/30）

日経平均は596円（0.95%）高の6万3290円、TOPIXは横ばい **半導体株は週前半に上昇し金曜に反落、銀行株は4.1%高、日銀は政策金利を据え置いた**

日経平均は週間で596円95銭（0.95%）高の6万3290円11銭で終えた。TOPIXは金曜に3965.07で引け、週間ではほぼ横ばいであった（1306 ETF +0.02%）。日経平均は3日続伸の後、金曜はインテル決算を受けて1369円36銭（2.12%）安となった。日銀は10月30日、8対1で政策金利を1.25%程度に据え置き、2027年1月からのETF売却加速を決めた。円は対ドルで0.83%安の157円80銭である。

日経平均株価	TOPIX（東証株価指数）	東証グロース市場250	10年国債利回り	ドル/円
+1.0%	+0.0%	+3.5%	2.817%	157.80
終値 63,290.11	1306 ETF で代替	2516 ETF で代替	-2bp	週間 +0.8%（円安）

日経平均VI
33.82
週間 -4.43

01

今週の要点

日経平均がTOPIXを0.9ポイント程度上回る、インテルの見通しが金曜の半導体株の重荷に

日経平均は月曜に503円安となった後に3日続伸し、木曜に6万4659円47銭を付けた。金曜は1369円36銭（2.12%）安と4日ぶりに反落し、下げ幅は一時1900円を超えた。東証プライムの売買代金は概算8兆4600億円である（OANDA）。米インテルが時間外取引で急落し、AI・半導体関連株が総崩れとなり、インテル銘柄とされるイビデンの下げが目立った（日経）。金曜はアドバンテストが5.9%安、ソフトバンクグループが6.0%安、東京エレクトロンが5.2%安となった。

それでも週間ではこれらの銘柄は上昇した。アドバンテストは10月28日に今期営業利益予想を8460億円から9670億円に引き上げ、7〜9月期の営業利益は2668億円と市場予想

の2200億円程度を上回り、最大2800億円の自社株買いも発表した（財経新聞）。週間ではアドバンテストが7.79%高、ソフトバンクグループが4.79%高、東京エレクトロンが0.59%高である。値がさ株の影響が大きい日経平均はTOPIXを上回り、NT倍率は約15.81倍から約15.96倍に上昇した。

日銀は1.25%程度で据え置き、基調的物価は2%と概ね整合的と判断、ETF売却は年約8600億円に

日銀は10月30日、8対1で無担保コール翌日物金利を1.25%程度に据え置いた。高田委員は1.50%への利上げを提案した。ETFの年間売却ペースは全員一致で約3300億円から約8600億円（簿価ベース）に引き上げ、2027年1月から実施する。時価換算では年間約2兆4600億円である（日本銀行）。売却加速はサプライズとされたが、市場の動揺は限られた（OANDA）。

展望レポートでは2027年度のコアCPI見通しの中央値を2.4%から2.6%に引き上げ、2026年度は2.5%、2028年度は2.0%で据え置いた。基調的な物価上昇率は2%の目標と概ね整合的な水準にあると判断した。植田総裁は利上げの是非を会合ごとに点検するとし、12月の利上げは予告しなかった（OANDA）。同日発表の10月の東京都区部コアCPIは前年同月比2.6%上昇と9月の2.7%から伸びが縮小し、市場予想と一致した。

銀行株は4.1%高、日立は決算後に急落、業種間の差が拡大

TOPIX-17業種別ETFでは銀行が4.06%高、エネルギー資源が2.35%高、運輸・物流が2.00%高となった一方、電機・精密は2.91%安、機械は1.99%安、鉄鋼・非鉄は1.83%安、不動産は1.71%安であった。三菱UFJ FGは週間で4.61%高である。日銀の追加利上げを巡る議論が銀行株の支えになったとみられる（推測）。

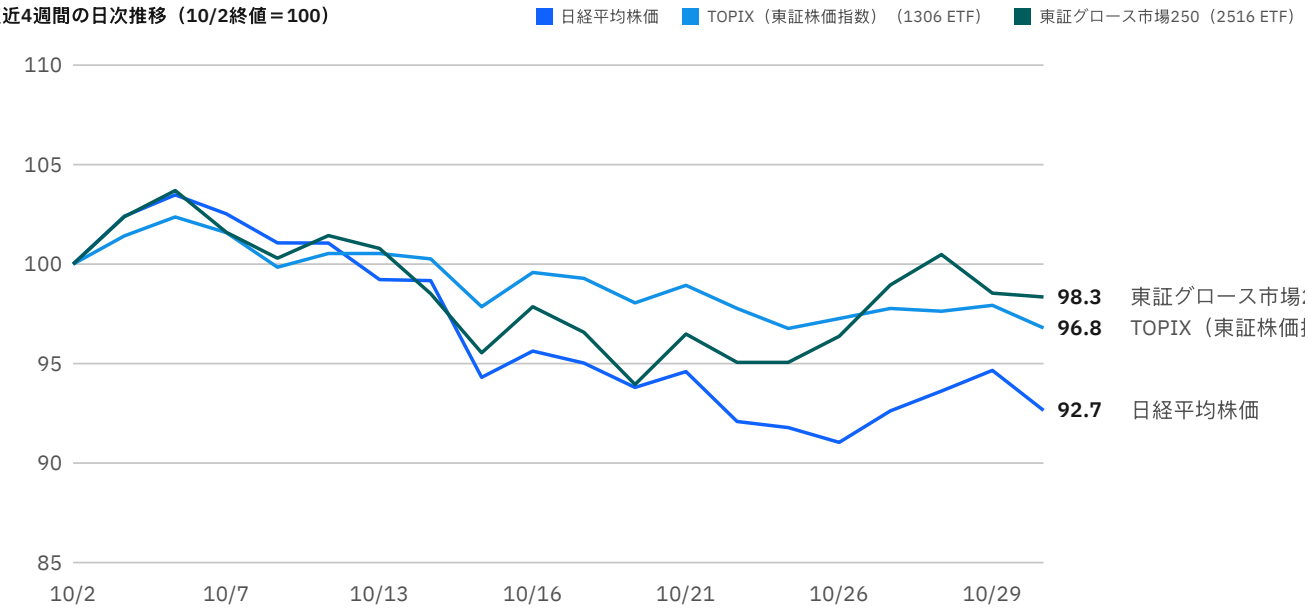
日立は10月29日に9.8%安、週間では8.41%安となった。7〜9月期の調整後営業利益は3490億円と前年同期比17.5%増であったが、市場予想を100億円強下回った（株探）。ソニーグループは4.33%安、任天堂は2.93%安で、両社とも11月5日に決算を発表する予定である。東証グロース市場250（2516 ETFで代替）は3.46%高であった。

> 今週の日経平均の上昇は引き続き少数の値がさ半導体株によるものであり、TOPIXは横ばいであった。日銀の金利とETFの決定はこの構図を変えていない。

02

市場動向

直近4週間の日次推移（10/2終値＝100）



指数	週間	1カ月	年初来	終値
日経平均株価	+1.0%	-5.2%	+25.7%	63,290.11
TOPIX（東証株価指数）（1306 ETF）	+0.0%	-3.5%	+16.3%	416.40
JPX日経インデックス400（1591 ETF）	-0.4%	-3.4%	+16.7%	36,010.00
東証グロース市場250（2516 ETF）	+3.5%	-2.3%	+17.2%	619.60

ETF と表記した行は指数の代わりに ETF を使用（Yahoo!ファイナンスに指数データがないため）。終値は ETF の価格。

TOPIX-17業種の週間騰落

銀行 +4.1% 年初来 +36.8%	エネルギー資源 +2.4% 年初来 +26.1%	運輸・物流 +2.0% 年初来 +7.0%	金融（除く銀行） +0.8% 年初来 +28.4%	医薬品 +0.7% 年初来 +9.2%	自動車・輸送機 +0.7% 年初来 -2.4%
小売 +0.6% 年初来 +3.6%	素材・化学 +0.5% 年初来 +18.4%	情報通信・サービスその他 +0.1% 年初来 +16.1%	商社・卸売 +0.1% 年初来 +20.8%	建設・資材 -0.5% 年初来 -1.4%	食品 -0.5% 年初来 +20.4%
電力・ガス -0.6% 年初来 +5.8%	不動産 -1.7% 年初来 -5.5%	鉄鋼・非鉄 -1.8% 年初来 +20.3%	機械 -2.0% 年初来 +4.5%	電機・精密 -2.9% 年初来 +22.6%	

NEXT FUNDS TOPIX-17 業種別 ETF（1617～1633）で代替。売買の少ない ETF は指数と多少乖離することがある。

主力大型株	週間	1カ月	年初来	終値
アドバンテスト（6857）	+7.8%	+1.8%	+77.5%	34,860円
ソフトバンクグループ（9984）	+4.8%	-30.3%	+1.8%	4,481円
三菱UFJ FG（8306）	+4.6%	-6.8%	+38.3%	3,447円
三菱商事（8058）	+1.9%	+0.8%	+34.0%	4,805円
三井物産（8031）	+1.3%	+1.5%	+7.8%	5,006円
リクルートHD（6098）	+0.7%	+14.3%	+117.0%	19,200円
東京エレクトロン（8035）	+0.6%	-19.5%	+38.6%	9,514円
キーエンス（6861）	-0.5%	-3.1%	+37.6%	78,000円

主力大型株	週間	1カ月	年初来	終値
ファーストリテイリング（9983）	-0.7%	+6.3%	+32.3%	75,340円
トヨタ自動車（7203）	-1.1%	+5.1%	-8.5%	3,070円
任天堂（7974）	-2.9%	+4.3%	-21.8%	8,289円
ソニーグループ（6758）	-4.3%	+5.3%	-1.6%	3,958円
日立製作所（6501）	-8.4%	-7.2%	+3.9%	5,094円

株価騰落率（配当は含まない）。

指数：日経平均は0.95%高、TOPIXは横ばい（1306 ETF +0.02%）、JPX日経400（1591 ETFで代替）は0.39%安、東証グロース市場250（2516 ETFで代替）は3.46%高であった。日経平均VIは金曜に33.82で引け、前週から4.43低下したが、木曜の25.80を上回った。

主力大型株：アドバンテスト（+7.79%）、ソフトバンクグループ（+4.79%）、三菱UFJ FG（+4.61%）が上昇し、日立（-8.41%）、ソニーグループ（-4.33%）、任天堂（-2.93%）が下落した。トヨタ自動車は1.13%安、ファーストリテイリングは0.71%安である。

03

金利・為替

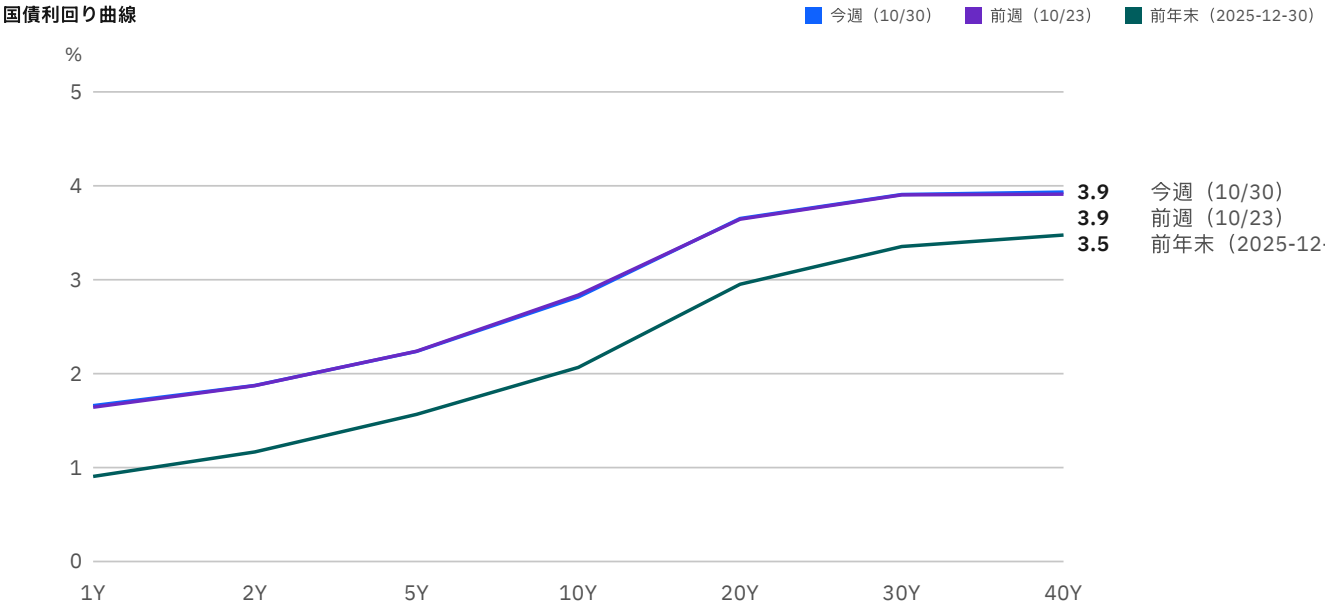
中央銀行	政策金利	直近の決定	次回会合
日本銀行	1.25%程度	10月30日 据え置き（8対1、高田委員は1.50%を提案）	12月17～18日
FRB	3.75～4.00%	10月28日 据え置き（10対2、2人が利上げ主張）	12月8～9日

日銀と FRB の公表文より。発行時に確認。

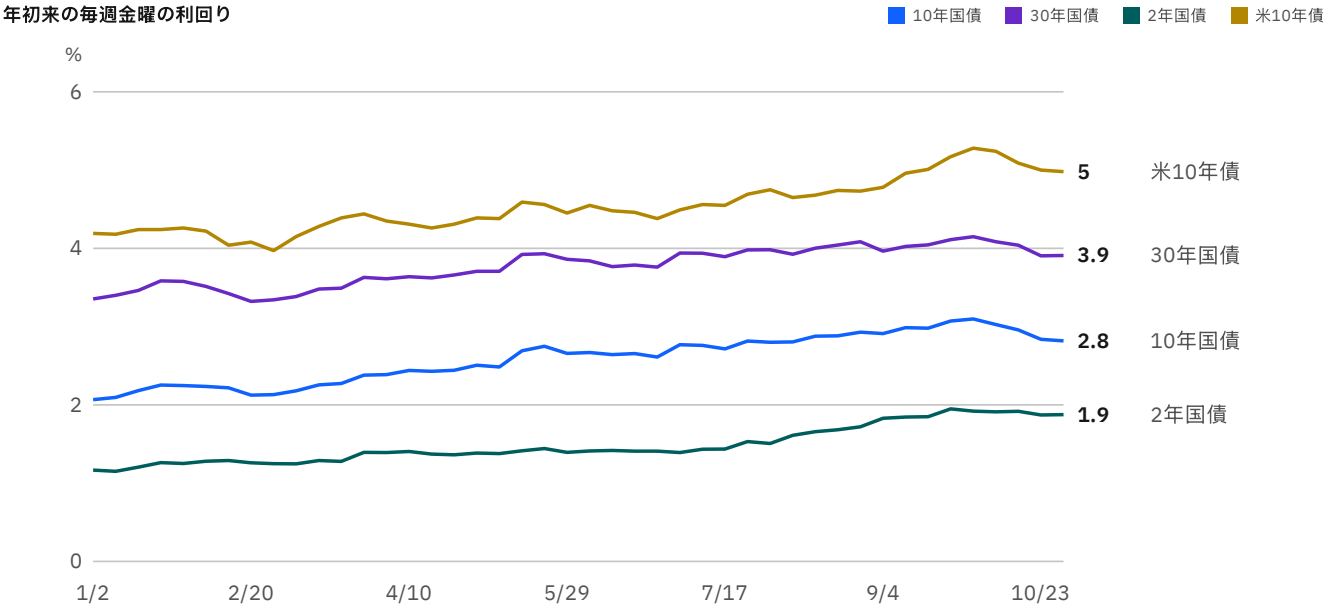
利回り	週末値	週間変化	年初来
2年債	1.875%	+0bp	+71bp
5年債	2.237%	-0bp	+67bp
10年債	2.817%	-2bp	+75bp
30年債	3.908%	+0bp	+55bp
米10年債	4.98%	-2bp	–
日米10年金利差	216bp	+0bp	–

日本国債：財務省公表の国債金利（2026-10-23～2026-10-30）、年初来の基準は2025-12-30。米国債：FRED。

国債利回り曲線



年初来の毎週金曜の利回り



為替	週末値	週間変化	円の週間騰落	円の年初来
ドル/円	157.80	+0.8%	-0.8%	-0.9%
ユーロ/円	176.47	+0.5%	-0.5%	+4.1%
人民元/円	23.69	+1.1%	-1.1%	-5.6%

レートの上昇は円安。「円」の列は各通貨に対する円の騰落で、プラスは円高。Yahoo!ファイナンスの日次終値。

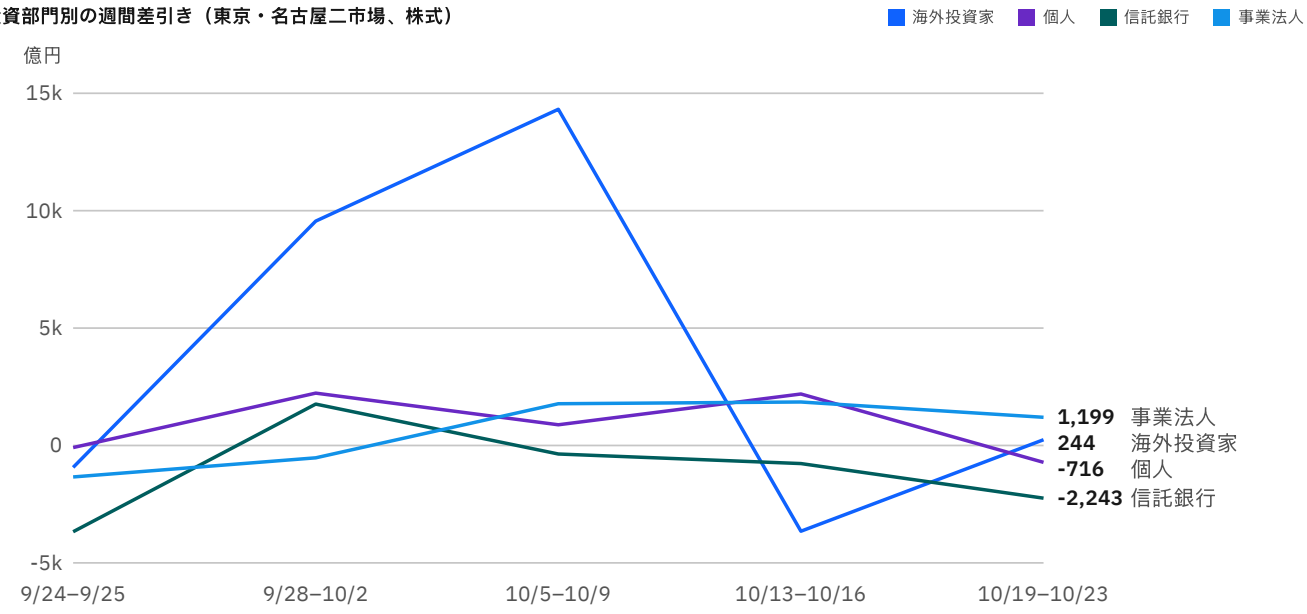
日本国債：10月30日時点で2年債利回りは1.875%（+0.3bp）、5年債は2.237%（-0.1bp）、10年債は2.817%（-2.0bp）、30年債は3.908%（+0.4bp）である。日銀の決定後の変動は小さかった。10年債利回りは年初来で75bp上昇している。

日米金利差：米10年債利回りは4.98%（10月29日時点）で、金利差は216bp程度と前週からほぼ変わらずであった。円は対ドルで0.83%安の157円80銭、対ユーロで約0.5%安、対人民元で約1.1%安である。金利差が安定する中での円安は、ドル需要と日銀の据え置きを反映しているとみられる（推測）。決定後にドル円は一時157円11銭まで下落し、植田総裁の会見中に157円74銭まで戻した（OANDA）。

04

投資部門別売買動向

投資部門別の週間差引き（東京・名古屋二市場、株式）



最新は10/19〜10/23の週（今週分は JPX 未公表）。単位は億円、プラスは買い越し。

週	海外投資家	個人	信託銀行	事業法人
9/24–9/25	-930億円	-86億円	-3,673億円	-1,340億円
9/28–10/2	+9,559億円	+2,229億円	+1,764億円	-528億円
10/5–10/9	+14,318億円	+881億円	-360億円	+1,780億円
10/13–10/16	-3,654億円	+2,193億円	-772億円	+1,850億円
10/19–10/23	+244億円	-716億円	-2,243億円	+1,199億円

出典：JPX「投資部門別 株式売買状況」（週間、二市場計、買い−売り）。海外投資家は法人・個人の合計、個人は現金・信用の合計。

JPXの投資部門別売買状況は10月19〜23日の週が最新で、今週分は未公表である。同週、海外投資家は244億円の買い越し、個人は716億円の売り越し、信託銀行は2243億円の売り越し、事業法人は1199億円の買い越しであった。日経平均が2631円下落する中、海外投資家は前週の3654億円の売り越しから小幅の買い越しに転じた（みんかぶ）。

05

カバレッジ銘柄

銘柄	当社レーティング	週間	対日経平均	年初来
三井物産（8031）	中立	+1.3%	+0.3%	+7.8%

三井物産のレーティングは中立で、週間1.29%高と日経平均を0.3ポイント程度上回った。11月4日に決算を発表する予定である。

06

来週の注目材料

日付	イベント	注目点
11/3	東証休場（文化の日）、米中間選挙	来週の立会は4日間である。選挙結果と米国株の反応は11月4日の東京市場に反
11/4	三井物産、三菱商事の決算	原油高と円安が商社業績の主な変動要因である。
11/5	トヨタ自動車（13時55分）、ソニーグループ、任天堂の決算	トヨタは9月中間決算を発表する。想定為替レートと通期見通しが焦点である。
11/6	10月米雇用統計、三菱重工業の決算	市場予想は雇用者数5.5万人増である。FRBの12月利上げの織り込みと日米金利
11/10	ソフトバンクグループの決算、10月米CPI	ソフトバンクグループは日経平均への影響が大きい。日程は米ヤフーファイナン

時刻は日本時間。

07

データの定義と出典

週間騰落率 ＝ 今週最終取引日の終値 ÷ 前週最終取引日の終値 − 1（2026-10-26〜2026-10-30）。配当落ち調整をしない終値（株価の騰落のみ）。

株価・為替は Yahoo!ファイナンス（遅延あり）。同サイトにない指数は ETF で代替：TOPIX（東証株価指数） → NEXT FUNDS TOPIX 連動型上場投信（1306）、JPX日経インデックス400 → NEXT FUNDS JPX日経インデックス400連動型（1591）、東証グロース市場250 → 東証グロース市場250指数連動型 ETF（2516）。業種は NEXT FUNDS TOPIX-17 業種別 ETF。

国債利回りは財務省「国債金利情報」（日次）、米10年債は FRED。

投資部門別売買は JPX「投資部門別 株式売買状況」（週間、二市場計）で、通常は翌週第4営業日に公表。

日銀と FRB の政策金利・会合日程は両中銀の公表文より。

日経：10月30日の終値、OANDA：日経平均サマリー（10月30日）、日本銀行：当面の金融政策運営について（10月30日）、日本銀行：展望レポート、OANDA：日銀会合の総括、財経新聞：アドバンテスト、株探：日立、みんかぶ：投資部門別売買動向、時事通信：トヨタの決算開示時刻、株探：今週の決算発表予定。TOPIXの終値はOANDAによるもので、週間騰落率は1306 ETFで代替した。前週のNT倍率は日経平均とETFの週間騰落率から推計した。

本週報は公開市場データに基づくリサーチ資料であり、一般の読者を対象としている。個人の財務状況を考慮したものではなく、投資助言を構成するものではない。データには遅延があり、原資料の数値が優先される。

データ時点 2026-10-30 · 雅虎财经（行情、汇率）；財务省（日本国债收益率）；JPX（投资者类别买卖）；FRED（美债收益率）；日银、美联储公告

AlphaScope · alphascope.cc/ja/reports/jp-weekly-2026-w44 · 2026-11-02 作成

財務データは SEC EDGAR の原資料に基づく。株価データには遅延があり、出典は各レポートに記載している。

レーティングはすべての読者を対象とするリサーチ上の見解であり、特定の個人に対する売買の推奨ではない。投資にはリスクが伴う。投資判断は読者自身の責任において行われたい。